

「評価」への取り組みのご紹介

～認め、励ます評価に向けて～

この資料は、平成31年度中学校教科書の内容解説資料として、一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則っております。

道徳科の評価をするのは初めてで、不安です。どのように進めたらよいのでしょうか。



道徳科の学習活動において評価を行うわけですが、特別なやり方があるわけではありません。
これまでってきた方法で生徒の学習状況などを見取れば大丈夫ですよ。
まずは学習指導要領を見てみましょう。



生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子を継続的に把握し、指導に生かすよう努める必要がある。
ただし、数値などによる評価は行わないものとする。

「中学校学習指導要領 第3章 特別の教科 道徳」の「第3 指導計画の作成と内容の取扱い」の4 より

つまり、道徳科の評価は、

- ① 年間や学期といった一定の時間的なまとまりの中で、
生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子を継続的に把握すること
 - ② 評価を指導に生かすように努め、さらなる「指導と評価の一体化」を図ること
 - ③ 数値による評価は行わず、生徒の成長を認め、励ます個人内評価として記述式で行うこと
- が基本になります。



評価は生徒にとっては向上目標となり、教師にとっては指導に生かすための
資料となるのですね。評価を行う際は、どのような点に着目したらよいでしょうか。



個々の内容項目に分けて行うのではなく、大くりなまとまりを踏まえた評価にする必要があります。
評価の視点としては、

- ① 自己や他者との対話を通して、道徳的価値の実現に向かうさまざまな見方・考え方につづき、
自分の見方・考え方を広げ、深めることができたか
 - ② 道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で考え、深めているか
- ということが挙げられます。



よく分かりました。ありがとうございます！
評価について、教科書ではどのような対応がされているのかな……。

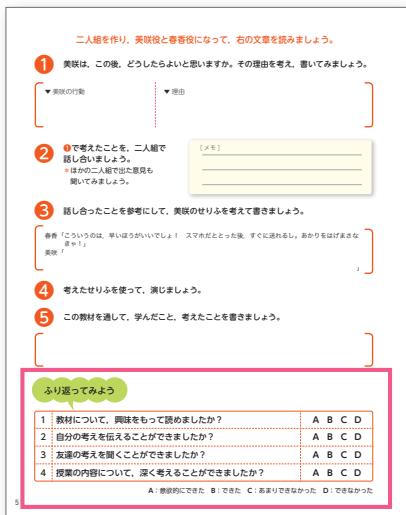


次のページで、教科書の記入欄やワークシートを使って行う評価の例をご紹介します！



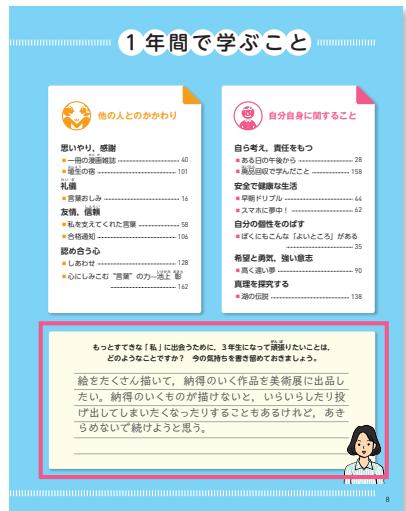
教科書の記入欄や、ワークシートの活用例

オリエンテーション(学年始)



オリエンテーションで、自己評価欄を実際に使って、振り返りのイメージをもちます。

(3年 p.5)

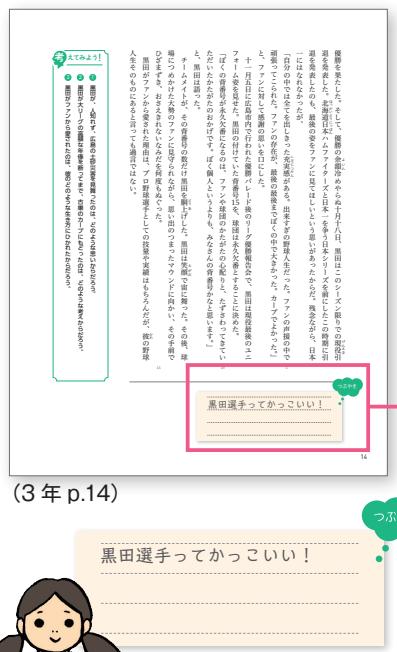


これから1年間で学びたいことや、よりよい自分に出会うためにやりたいことなど、今の気持ちを書き留めておきます。

(3年 p.8)

1学期

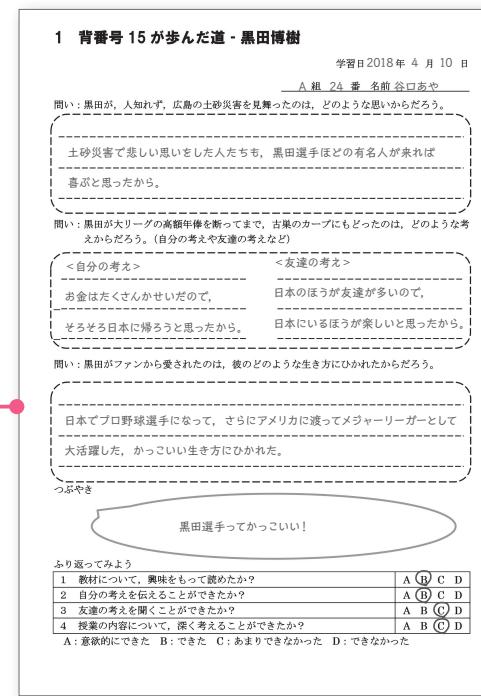
● 3年「背番号15が歩んだ道—黒田博樹」—よりよく生きる喜び



(3年 p.14)



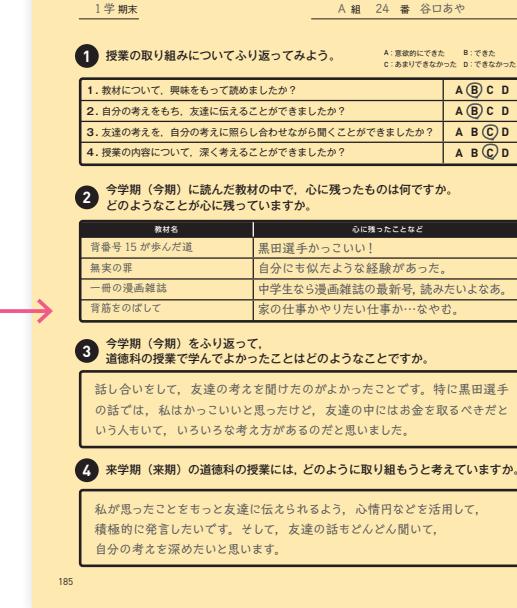
黒田選手ってかっこいい！



(教師用指導書 ワークシート編)

2学期

★ 自分の学びをふり返ろう ★



(3年 p.185)

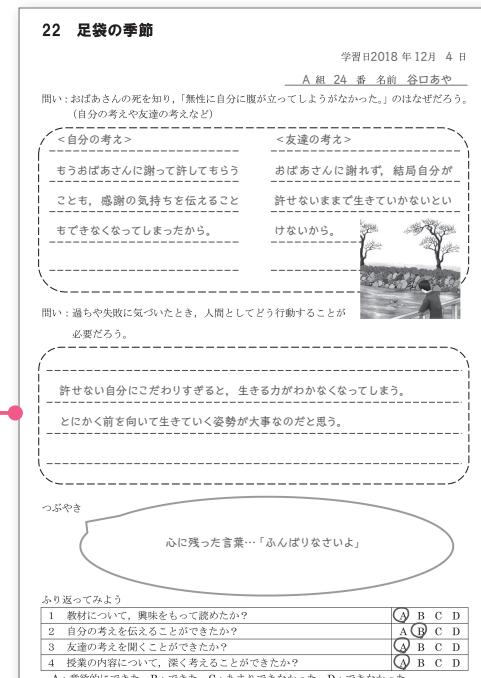
● 3年「足袋の季節」—よりよく生きる喜び



(3年 p.111)



心に残った言葉…
「ふんぱりなさいよ」

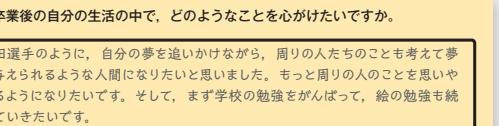


(教師用指導書 ワークシート編)

学年末

もっとすてきな「私」に出会うために、3年生になって頑張りたいことは、
どのようなことがありますか？ 今の気持ちを書き留めておきましょう。

絵をたくさん描いて、納得のいく作品を美術展に出品したい。納得のいくものが描けないと、いらっしゃりしだり投げ出してしまったくなったりすることもあるけれど、あきらめないで続けようと思う。



(3年 p.8)

189

【自らの成長を実感し意欲の向上につながる自己評価】

3年生の初めにはこんなことを書いていたんだな。
今の自分は1年前よりも、物事をあきらめずに、
粘り強く続けられるようになった気がするな。



【指導方法の改善に生かす評価】

あやさんや他の生徒のワークシートを見ると
「背番号15が歩んだ道」では道徳的価値についての理解が深められていないな。中心発問で切り返しの発問が必要かもしれないな。



【生徒を認め、励ます評価】

あやさんは、2学期では1学期と比べて、
自分の弱さと向き合いながら、前向きに生きる
ということについて、多面的・多角的な見方
で考えを深めているな。



評価資料（ポートフォリオ）



189

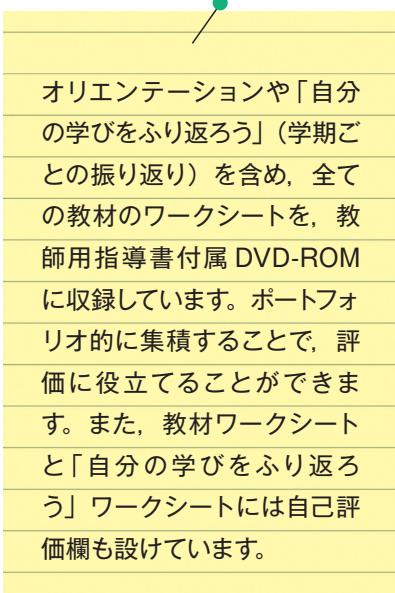
教師用指導書にも「評価」に役立つ情報やツールを用意しています。

左記の各論部分の他に、総論でも評価についての考え方や実際の評価について、詳しく解説しています。

各論の教材指導案で、生徒の学習状況を見取る際のポイントやその方法と場面、生徒の成長や変容を見取る視点の具体例について、解説しています。

具体例は、指導要録や通知表作成の際の参考にもなります。

別案についても本案と同じように、評価を行いうにあたっての解説を掲載しています。



※企画中のため、仕様や内容は変更になる場合があります。



東京書籍

本社

本社
支社・出張所

〒114-8524 東京都北区堀船2-17-1 Tel:03-5390-7402(中学道德編集) Fax:03-5390-6014

六五 田猎

札幌 011-562-5721 仙台 022-297-2666 東京 03-5390-7467 金沢 076-222-7581 名古屋 052-939-2722

女性用披肩 150×370cm 黒 SUE222-2571 価格 2,200円 東京 03-5955-7157
大阪 06-63397-1350 広島 082-568-2577 福岡 092-771-1536 鹿児島 099-213-1720 那覇 098-834-8084

杰-1ページ

大蔵 88-8897-1888 法島 882
<https://www.tokyo-shoseki.co.jp>